

1 会議名

令和5年度 第2回 阿賀野市環境審議会

2 開催日時

令和6年1月30日(火) 午後2時から午後3時30分まで

3 開催場所

阿賀野市水原総合体育館 「ミーティングルーム」

4 出席者(傍聴者を除く。)の氏名(敬称略)

- ・委員:及川 紀久雄、田辺 正明、清水 明子、波多野 千代、岩浪 春輝、伊藤 浩、
渡邊 景子、小泉 豊信 (8人中 8人出席)、
- ・事務局:小野市民生活課長補佐、三留室長、渡辺係長
- ・コンサルタント:(市受託業者~株式会社中部設計) :峯木環境部次長

5 議事

- (1) 阿賀野市第二次阿賀野市環境基本計画(素案)と阿賀野市第2期地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(素案)のパブリックコメントの結果について(公開)
- (2) 両計画の概要版について(公開)

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

なし

8 発言の内容(以下より)

開会(小野市民生活課長補佐)

本日の会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開とする旨を告げる。次に、傍聴者はないこと確認する。会議中は録音すること、写真を撮影すること、議事録については後日公開とし、公開する議事録には従前どおり発言者を明らかにすることの了承を得る。

併せて、議事録、審議中の写真を阿賀野市のホームページ等で掲載することの了承を得る。

開会のあいさつ 及川会長

■及川会長

皆様、こんにちは、年明け元旦に能登半島大地震によって、各地に非常に大きな災害をもたらしました。阿賀野市でも被害が出たようでございます。お見舞い申し上げます。どうぞ今年もよろしく願いいたします。

今日は、第二次環境基本計画、第2期地球温暖化対策実行計画の審議をし、パブリックコメントの内容を含んだものを最終的な案として、今月末か来月には田中市長の方へ答申書の報告という段階になっております。皆様からご意見をいただきまして、最終案としたいと考えております。

よろしく願いいたします。

議 事

- 1) 阿賀野市第二次阿賀野市環境基本計画（素案）と阿賀野市第2期地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）のパブリックコメントの結果について

■及川会長

これから議事に入ります。

今日は、阿賀野市第二次環境基本計画と阿賀野市第2期地球温暖化対策実行計画(区域施策編)のパブリックコメントの結果について1名の方からご意見がありました。

事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局（三留室長）

- 阿賀野市第二次阿賀野市環境基本計画（素案）と阿賀野市第2期地球温暖化対策実行計画

（区域施策編）（素案）のパブリックコメントの結果について説明をする —

■及川会長

今のパブリックコメントの結果について説明をいただきました。皆様からご意見、ご質問ございますでしょうか。これにつきましては、パブリックコメントの意見が自然だと感じますがいかがでしょうか。

特に異議がなければ、これをお認めいただき、修正という形で計画に反映させていただいてよろしいでしょうか。

<異議なしの声あり>

■及川会長

ありがとうございました。続きまして、両計画の概要版についてご説明をお願いいたします。

2) 両計画概要の説明について

○事務局（三留室長）

概要版の説明につきまして、私から若干ご説明をさせていただきます。

概要版は前回の審議会でもお示しさせていただきましたけれど、市民向けにわかり易く記載した方がいいだろうということで、概要版のレイアウトを変更させていただきました。

内容に関しては前回の審議会でお示した概要版と変更ございません。市民向けにわかり易く、「レイアウトをもっとこのようにした方が市民にわかり易いのではないか」というようなご意見がありましたら頂戴したいと思います。レイアウトを変更しました概要版について、コンサルタント会社より説明いたします。

○事務局（コンサルタント）

— 両計画の概要版について説明をする —

■及川会長

概要版の説明は終わりでよろしいですか。第二次環境基本計画、それから第2期地球温暖化対策実行計画の両計画概要のご説明いただきました。

これにつきまして、皆様からご意見、ご質問等いただきたいと思います。

■小泉委員

レイアウトについてですが、市民にわかり易く、親しみ易くしたいということで、こういう表紙にしたと思いますが、環境基本計画の概要版の表紙で地元の間人としては少し違和感がありました。後ろの山が五頭山ではないですね。

それから白鳥はよろしいのですが、表紙に描かれている場所は瓢湖にはありません。

やはり瓢湖らしい絵や写真にさせていただきたいと思います。五頭山も含めて、もう少し市民が親しみやすい表紙にさせていただきたいと思いました。

地球温暖化対策実行計画の表紙も工業団地辺りでしょうか。

それらしく感じますが、やっぱり山の感じが五頭山と全く違うので、地元に馴染んだ形にして

いただきたいと思います。

瓢湖もそうですし、工業団地もそうですが、もっと市民に親しみ易いものにしていただければと思います。

■及川会長

ありがとうございました。今の意見について皆さんいかがでしょうか。

■田辺副会長

私も全く同じ意見です。これを見た時にどの辺が五頭山なのかと思いました。

私は毎朝、瓢湖で散歩をしております。先ほどの説明で五頭山と言いつけられましたので私には分かりませんでした。地元の写真とかを使った方がよろしいのではないかと思います。これを市民向けに出すには厳しいのではないのでしょうか。

もう一つ疑問で、先ほど工業団地という話がありましたが、阿賀野市は五頭山があつて、その麓に里山があつて、田んぼがある。それから住宅が広がってくるというのが景色を観れば分かると思います。山の麓に工業団地やマンションがあつて、離れたところに田んぼがある。

こんな場所本当にあるのかと、違和感を覚えましたので小泉委員がおっしゃっていたとおり、少し考えていただきたいと思います。もう一つ、先ほど説明いただきました、地球温暖化対策実行計画の5ページ下段のところでは文字が切れている箇所がありますので訂正をお願いします。

○事務局（コンサルタント）

表紙については見直しをいたします。またページ番号について、右左逆になっているので修正いたします。

■田辺副会長

時期的にいつ頃、市民にお示しできますか。

○事務局（三留室長）

タイミング的に市長に答申書を提出してからの作業となりますので、目安として、3月の下旬頃にはホームページに掲載したいと思っております。

■波多野委員

昨今、電気自動車の問題が注目されています。市民が地球温暖化実行計画を読んで、電気自動車導入の目標が756台となっている点に、大丈夫かなと思うかもしれません。

結局、電気自動車は私たちがユーザーとして走る時はCO₂の排出はされませんが、車の一生

を考えると10年くらい乗らないとガソリン車のCO₂排出量とトントンにならないというデータがあります。

そして、現実には電気自動車のバッテリーは10年持たないそうです。

これから技術開発が進み、バッテリーも改良されるでしょうが、この現状を十分承知した上で、計画したことを説明できるようにしておかなければならないと思います。

○事務局（コンサルタント）

実際は、電気自動車のさまざまな意見はあるが、公式な意見としては出ていない。

いろいろな方の意見があるのは承知している。いろいろな話があることも聞いているが、世界中の流れとしては電気自動車が将来的に化石燃料の削減につながる。電源そのものを自然由来のエネルギーに変えていきなり原子力に変えていく。国の方針として、そのような流れになってきている。

例えば、発電電気の1ワットにあたり、どのぐらいのCO₂を排出するか、毎年電力会社ごとに出していますが、それを2030年までCO₂の排出量を半分にするという計画がある。

国としては、発電電気からCO₂の排出量が削減されれば、電気自動車の優位性が出てくる。バッテリーの開発も進み今よりも効率の良いものが出てくる。

その辺を期待して、普及を進めていかなければならないと思います。

大きな流れとしては、電気自動車の普及は必要であると思います。100年後もガソリン自動車が動いていることは考えにくいと思います。

○事務局（三留室長）

今、電気自動車という話がありましたが、計画では電気自動車に「等」を書かせていただいた。電気自動車だけではなく、ハイブリッド車もプラグインハイブリッド車も含まれるという意図で「等」を書かせていただいた。

市としても、電気自動車のみを推奨すると言いきれない部分がありました。国の電気自動車への普及に関する記載にも「電気自動車等」という記述があったことから、あえて「電気自動車等」記載させていただきました。ハイブリッド車もプラグインハイブリッド車も捨てきれないというのが実情と考えております。間違いやすい表現ですので「等」に含まれる具体を記載させていただきたいと思います。

○事務局（コンサルタント）

どこまでがエコカーなのかを記載させていただきます。

■及川会長

ありがとうございます。その他、いかがでございますか。

■渡邊委員

先ほど、副会長がおっしゃっていましたが、表紙を見て、ソーラーパネルの効果が一番だという意味で、これを作成したというのは、説明を聞いて分かりました。

それならば、表紙でソーラーパネルだということがもっとわかり易くした方がいいと思います。ソーラーパネルが駄目になった時に、粗大ごみとして破棄できるのか、そのあたりも考慮しておかなければいけないと思います。

■田辺副会長

表紙に関して、太陽光に対しソーラーパネルの向きが逆ではないかと思いました。

■及川会長

私からのお願いです。計画の本編と概要版に年号の和暦と西暦の併記をお願いいたします。

表紙に関して、これは合成ですか。著作権の関係は大丈夫ですか。

○事務局（コンサルタント）

表紙は、生成A Iで作成しました。「五頭山」、「白鳥」、「瓢湖」と入力しA Iに書かせたものです。A Iの五頭山のイメージがこのような感じでした。

■岩浪委員

オープンA Iも著作権付きのものを引用していますが、その辺はクリアされていますか。

○事務局（コンサルタント）

そのあたりはクリアしています。オープンA Iのホームページの利用規定にも著作権に関して厳しくなっています。

■及川会長

A Iもよいのですが、この地域から撮った写真を表紙にした方がよいのではないのでしょうか。阿賀野市でも、市民にとってはなじみ易いものになるのではないのでしょうか。

■田辺副会長

一般に募集したらいい写真が出てくるとは思います。

■及川会長

いい提案ですが、策定までもう時間がありませんから市民に親しみ易い表紙の作成をお願いいたします。

環境基本計画の4ページで「間伐材の森林環境の整備や森林の適正管理を進め……」との記載がありますが、五頭山の地域の森林は、国有地もあるでしょうし、民間もあります。非常に複雑に入り組んでいます。新潟県は日本でもまれな森林に対する政策ができてない県です。富山県は山地に対して平地部分が少ないこともあり、森林を大事にしている県と聞いております。ですから、富山県では、山の上の方まで道をつけて、きちんと森林管理ができています。

ところが、新潟県は平地が多いので森林に関しての政策が遅れている。森林に関して、代々世襲で引き継がれることがなく、誰が管理しているか分からないのが新潟県の現状です。

山形県も同様です。これは、私の感想ですけど、人口が減少することを念頭に入れながら、将来計画を策定していく必要があると思います。阿賀野市に限らず、全国どこの市町村も人口減少がある。非常に難しいですが、人口減少に伴う弊害を考慮しながら計画を進めなければならなど考えています。コンパクトシティといいますけども、実際は難しい。

○事務局（コンサルタント）

他の市町村の計画を見ても横並びになっていて、吐出して人口減少に伴う弊害を考慮しながらの計画を策定できていない。

■及川会長

阿賀野市は、最初に有機農業という形で取り組み、東京にもどんどん進出し評価の高い農業でした。

阿賀野市は、新潟県で最初にメガソーラーを始めたと思います。阿賀野市の工業団地は、非常に風の強い、そのあたりが非常に難しいところです。

■波多野委員

市民の心情としては、行政は分業することなく一緒に力を合わせた方がいいと思っていますが、実際は縦割りですから、私たちが手を出すことができない。

■及川会長

両計画は素案ですので、今日は承認しなければ次のステップに進めないわけですが、市長の任期はいつまでですか。

○事務局（三留室長）

現市長の任期は4月24日までです。素案としてパブリックコメントで市民の皆様の意見を聴取したので、事務局としてはこれを最終案としてお願いしたいと考えております。

■及川会長

委員の皆さん、これでよろしいですか。今いろいろお話したことは、将来の計画策定時に考えていただきたいと思います。市長への答申時に、次回の計画策定時に今、話のあったことを触れていただければ助かります。

■田辺副会長

概要版で指摘したことと同じことが本編に入っているので、概要版で指摘があったことは本編に反映するという点でよろしいですか。

○事務局（三留室長）

今日、ご指摘のあったことに関しては、本編と概要版に反映させていただきます。

■小泉委員

概要版レイアウトのことでよろしいでしょうか。

白抜きの活字が多いですが、見にくい箇所もありますので見易いよう修正をお願いします。

○事務局（コンサルタント）

見易いように修正いたします。

■小泉委員

白抜きを使うのなら、地の色をもっと濃くするとよいと思います。

■伊藤委員

地球温暖化実行計画の概要版の2ページで例えば、産業部門の色は「青」、下の図では産業部門は「緑」というように、上下の図で部門ごとに色が違うので、色を合わせると対比すると見易いと思います。

■及川会長

それでは、今日指摘のありました事項を修正いただき、審議会の最終案といたします。修正しました案につきまして、各委員には概要版の送付をお願いいたします。

■波多野委員

概要版は各家庭に配る予定ですか。

○事務局（三留室長）

印刷枚数の関係で阿賀野市全世帯に配布する予定はありません。市役所や各支所の窓口配置し、欲しい方に自由に持っていただけるよう考えております。併せて、市のホームページにも掲載する予定でおります。

■及川会長

他によろしいでしょうか。以上で議事を終了します。今後の予定について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（三留室長）

及川会長議事進行大変ありがとうございました。それでは、私から今後の予定について、お知らせいたします。

審議委員の皆様からご審議いただき策定した両計画について、今後、市長へ答申をいたします。市長への答申書の提出については、ご都合がよろしければ、及川会長様と田辺副会長様からご出席いただきたいと思います。

及川会長様と田辺副会長様におかれましては、お忙しいことと存じますが、ご協力よろしくお願いいたします。

答申書の提出を持って、両計画の審議会での審議は終了となります。

先ほど話をしましたが、策定しました両計画の本編と概要版については、市民や事業者の方に広く周知を行うため、市のホームページ等に掲載いたします。以上で今後の予定について説明を終わります。それでは閉会のあいさつを副委員長の田辺副会長様お願いいたします

閉会のあいさつ 田辺副会長

■田辺副会長

委員の皆様お疲れ様でした。パブリックコメントの結果を受けて委員の皆様には、いつもながら積極的な意見をお話いただき、非常に有意義な審議となりました。

そして、これから答申するわけですが、おかげさまでいろんな意見をいただき、よりよい答申書の内容になると思います。

また、及川会長には阿賀野市の将来まで心配していただき、貴重なご意見いただきありがとうございました。以上で閉会のあいさつを終わります。

○事務局（三留室長）

ありがとうございました。以上で、本日の審議会を閉会とさせていただきます。長時間に渡りありがとうございました。

9 問い合わせ先

民生部 市民生活課 脱炭素・SDG s 推進室 環境係

TEL0250-62-2510（内線2108）

E-mail:shimin@city.agano.niigata.jp